

徳之島事務所（令和 8 年 5 月分）管内情勢

農林水産業関連

1 令和 8 年産赤土新ばれいしょ「春一番」、販売額 20 億円を達成

令和 8 年産のかごしまブランドのばれいしょ「春一番」は、出荷量 6,771t、販売額 2,028,679 千円で販売を終えた。

本年産は、早植えの作型で植付後に干ばつに遭遇し、出芽遅れ等が認められたほか、1 月下旬以降から菌核病、疫病、軟腐病等様々な病害が発生する状況であり、出荷量の伸び悩みが懸念された。

しかしながら、適度な降雨があり塊茎の肥大には良い環境であったこと、適切な病害防除が行われたこと等により、出荷量は前年産を大きく上回った。また、高単価の恩恵も受け、販売目標額 20 億円を達成した。

2 令和 7 年度ハカマ回収利用実績

令和 7 年度（R 7. 12 月～R 8. 4 月）のハカマ回収実績は、回収組織が前年度より 1 組織増加し、計 3 組織で実施したことから、回収面積は 15.1ha、回収量はハカマロール 30 個（約 4.5t）、エコハカマ 258.2t となり、いずれも前年度を上回った。また、ハカマ利用農家戸数は 9 戸であった。

エコハカマは、200 頭規模の経営において島内産ロールと比較し、約 16,000 円安価に調達でき、1 頭あたり 1 日 80 円のコスト削減効果が見込まれる。このため、冬期の粗飼料不足の解消に加え、飼養コストの低減にもつながった。